

薬物乱用防止対策

日本では、政府全体で薬物乱用問題に取り組むため、平成20年度からは「第三次薬物乱用防止五か年戦略」を立ち上げています。

この中で目標を4つ掲げていますが、目標1「青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上」とし、青少年の薬物乱用防止対策にも積極的に取り組んでいます。



麻薬・覚せい剤乱用防止広報啓発キャラバンカー

第三次薬物乱用防止五か年戦略

目標1

青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上

目標2

薬物依存・中等者の治療・社会復帰の支援及びその家族への支援の充実強化による再乱用防止の推進

目標3

薬物密売組織の壊滅及び未熟乱用者に対する取締りの徹底

目標4

薬物密輸阻止に向けた水際対策の徹底、国際的な連携・協力の推進



【文部科学省 厚生労働省 警察庁】



【文部科学省 厚生労働省 警察庁】



【文部科学省】

薬物乱用Q&A

Q1

一度だけなら大丈夫だって聞きましたけど、本当ですか？

A

答えはNOIです
一度でも乱用すると、脳神経にダメージが与ります。一度だけなら大丈夫という思い込みから後戻りできなくなるケースが多々あります。一度でも乱用してしまうと、もう二度と薬物で麻痺させられて、一度きりでも麻痺させられます。

Q2

覚せい剤はダイエットや勉強に効いて本当ですか？

A

答えはNOIです
ダイエットに効果があるというのは本当ではありません。覚せい剤は中枢神経を作用して、一時的に心を集中させて気分を良くするだけで、物忘れや集中力の低下が起きるようになります。覚せい剤を乱用すると、体の調子が崩れ、心にダメージを与えます。もちろん眠れなくなり、勉強に効かないということも、絶対にありません。作用がなくなると、強い疲労感や頭痛、脱力感が襲ってきます。勉強どころではなくなります。

Q3

一度試せばいいから大丈夫じゃないのですか？

A

答えはNOIです
一度試せばいいから大丈夫という思い込みから後戻りできなくなるケースが多々あります。一度でも乱用してしまうと、もう二度と薬物で麻痺させられて、一度きりでも麻痺させられます。

Q4

MDMAってどんな薬があるのですか？

A

MDMAを乱用すると、吐き気、めまい、頭痛、血圧上昇、心拍数の増加や過剰な興奮などが起こります。肝臓、腎臓、心臓や脳に影響を及ぼし、死亡することもあります。

Q5

調子が悪くなる子どもにも影響しますか？

A

胎盤を通して大きく影響します
女性の子宮中に乱用すると、胎盤や羊水、胎児の血液から胎児に薬物が移行することがあります。母体と胎児の血液が通じているため、胎児にも薬物が移行するという状態になります。

Q6

調子が悪くなるから大丈夫だって聞きましたけど、本当ですか？

A

答えはNOIです
「大丈夫だって聞きました」と思っても、やっぱりNOIと聞きなさい。大丈夫だって聞きましたから、自分の心も、自分の一生を大切にしましょう。薬物も場所・時間・状況によって、薬物の量も変わることがあります。少しでも薬物に近づかないで、薬物の量を減らすことが大切です。少しでも薬物に近づかないで、薬物の量を減らすことが大切です。

Q7

調子が悪くなるから大丈夫だって聞きましたけど、本当ですか？

A

答えはNOIです
調子が悪くなるから大丈夫だって聞きましたけど、やっぱりNOIと聞きなさい。大丈夫だって聞きましたから、自分の心も、自分の一生を大切にしましょう。薬物も場所・時間・状況によって、薬物の量も変わることがあります。少しでも薬物に近づかないで、薬物の量を減らすことが大切です。少しでも薬物に近づかないで、薬物の量を減らすことが大切です。

もっと知りたいこと・困っていることがあれば、相談できる大人に相談しましょう。

下記ホームページも参考にしてください

公益財団法人 日本学校保健会

<http://www.hokoku.or.jp/3/3-1/3-1.html>